

一般社団法人柏青色申告会会長賞

幸せの価値観

柏市立富勢中学校 第三学年 染谷 倖心郎

「百六十五円か、高くなったなあ、まあ、ほとんど税金だけどなあ」と、父さんが言った。

消費税はわかりやすい。商品代の十パーセントだから。でもガソリンは商品代に別の税金も含まれてるらしい。レシートには、その分がいくらかは書いてなかった。

僕はこの時初めて知った。

百六十五円の四十パーセント、つまり六十五円程、知らずに税金として納めている事を・・・。

知らないだけで他にもこういう形で納めている税が存在するのか調べてみたら、税金だけで五十種類もある事に驚いた。聞いた事の無い種類もたくさんあるし、冒頭のガソリンだけでも何種類もの税金がかかっていた。一体なんでそんなに納めなくてはならないかを調べると、安全や安心に皆が、暮らす為だった。例えば道が綺麗になったり警察がいて治安が良かったり先生がいて義務教育が受けられる事。

税金の少ない国は日本で当たり前の事がそうで無い。例えば病院が高額で通院する事さえやめてしまう事、学校にお金がたくさんかかる為、教育を受けられない、税収が少なく警察官が減って地域の犯罪が増えたりするらしい。

ではさらに多く税金を納めている国はどうか？調べると消費税が二十五パーセント所得税が四十パーセント程、車を買うとなると百五十パーセントもかかり、車体以上の税を納める国があった。デンマークだ。そのかわり、福祉も介護も医療も無料で育児や、障がい者支援制度も充実していて、年金も三年以上住めば、すべての国民に支給され、老後の生活も保障される。教育費も大学まで、無料で国立大学しか存在せず、さらに十八歳以上の学生には月額約八万円の生活費が支給されるらしい。

二千十六年には、「世界で最も幸せな国」ランキング一位になる事が示す様に、国民は税金をたくさん納めても不満はなく、むしろ納めた税金はサービスとして返ってくる考えで満足度が高いのである。皆が平等に受けられる社会保障や教育、更に貧富の差が少ないので、社会主義的なかと思いきや、資本主義国であった。

一つ気になるのが離婚率五十パーセント程という事。半分は離婚している。これも、社会保障があるからお金の心配をしなくて簡単に離婚するのか、それとも、そもそも幸せの価値観が違うのか、それはわからない。

日本と比べると好き勝手に生きてる気がしてしまうが、そう思ってしまう僕は日本人だからだと思う。

税金によって生きる価値観さえも形成されてしまうのであれば、もっと詳しく日本の税について深掘りして知りたくなった。